

き が

飢餓について

前沢千奈都

提案のきっかけ

テレビなどで、世界では約8億人も
の人が栄養不足に陥っていることを知
った。だからその対策としてどのよ
うな事ができるのか気になった。

日本の現状（食品ロス問題）

日本での現状は**食品ロス**をが多いことだ。

日本で一年間**約 6 1 2 t**にもものぼる物が廃棄されそして2050年には、今の**1, 7 倍**の食料が必要になる。そのため日本では食品ロスを改善させる取り組みが必要になってくる。

提案（2つ）

（1）訳あり商品を多くの店で販売し、買ってもらう

◎処分されてしまうもの

- ・ 形や汚れ等 消費期限間近 割れキズ等 などを

上のような普段処分されてしまうが、食べることができるものをまとめて安く売ってイベント（祭りなど）でセール品としてまとめて売ったり

店の中にそういうのを集めて売るコーナーをすることによって食品ロスが少なくなると思う。

(2) 食べ残しの持ち帰りを実践してもらおう

食べ残しを実践していない店は**66%**で多くの店が持ち帰りを利用していないという事がわかる。

だから食べ残しのものを持ち帰れるようにで

きるため、パックやお皿をお店側や自分で持ってくる

ようにして、食べかけのものもちゃんと食べて食品ロス問題をなくすのがいいと思う。自分で持ってくるのは意識が必要だから、**食品ロスを減らす**という意思を持って一人ひとりが協力できるようにしたい

提案理由

(1) そういう商品は売っているが、訳あり商品を購入しない人のアンケートだと**購入機会がない**という人が多い。(約50%もの人がそう答えた) だから購入機会を増やすため今行った取り組みを実施すると思った。

(2) 飲食店で食べ残しを処分してしまうと毎日処分すると膨大な量になると予想するからだ。

まとめ（実際にできたらどうなるか）

これを実際にできたら、主に飲食店での食品ロスが少なくなると考えられる。だが個人での心がけも大切だ。買いすぎ・作りすぎ・保存方法を意識し、それでいて食品ロスを解決できればいいと思う。